

問題

話すこと・聞くこと①

名前

年

組

田中さんたちは、「スポーツ観戦をするならテレビで見る方がよいか、実際に競技場で見るの
がよいか」についての話し合いをしています。これを読んで問題に答えましょう。

田中.. 私はスポーツを観戦するならテレビで見たいと思います。理由は、選手の細かい動作や表
情までよく見えるからです。テレビで野球を見ていて、三振をうばったときに投手が笑顔
になるのを見ると、こちらまでうれしくなることがあります。

東野.. 私は競技場で見るのが好きです。なぜなら、競技場全体の様子や選手が動くスピードなどは、
直接見ないと分からないことがあるからです。

田中.. 全体の様子はテレビでも見ることができると思います。直接見ないと分からないこととは、
具体的にはどのような場合でしょうか。

東野.. 例えば野球だと、テレビではボールの動きを中心とした部分的な様子が映ります。しかし
野球場で見ると、グラウンド全体の中のボールと選手の動きを見ることがができます。

田中.. なるほど。テレビだと一部の様子はよく分かりますが、全体の様子がいつも分かるとはい
えませんね。

東野.. たしかに、広い競技場では選手の表情を見ることができませんが、スポーツ競技を見ると
いう意味では、全体の様子がよく分かる方がよいと感じます。

前田.. 二人の会話を聞いて、田中さんと東野さんでは、①スポーツを見るときに、よいと思う点
がちがうことが分かりました。

田中.. そうですね。私はスポーツを競技としてだけではなく、その競技をする人の気持ちも想像
しながら見ています。しかし、新聞やニュース番組などでも、スポーツのドラマ性や選手
の気持ちについて報道されていることも多いようです。

東野.. 私も選手の気持ちが書かれた記事を読むことが好きです。観戦するときは競技そのものを
楽しみ、それとは別に、新聞を読んだりニュース番組を見たりしています。

前田.. よく分かりました。

東野.. 前田さんはテレビで見るのと、実際に見るのとでは、どちらがよいと思いますか。

前田.. 私はテレビで見る方がよいと思います。なぜなら、アナウンサーの実きようや解説などを
聞くことで、あまりくわしくない競技でもルールや見どころを知ることができるところです。

田中.. 話し合いをすることで、スポーツ観戦にもいろいろな楽しみ方が分かった。

東野.. そうですね。テレビで見る場合と実際に見る場合とを比べてみて、②それぞれにすぐれた
点があることが分かったと思います。

問題1

次の表は、田中さん、東野さん、前田さんの発言から、スポーツをテレビで見た方がよいという意見と、実際に見た方がよいという意見の、それぞれの理由と事例をまとめたものです。表の（A）～（C）にあてはまるものを、ア～エから選んで記号を書きましょう。

意見	理由	事例
スポーツを見るならテレビの方がよい。	・選手の細かい動作や表情までよく見えるから。 ・（A）	・（B）
スポーツを見るなら実際に見る方がよい。	・競技場全体の様子や選手が動くスピードなどは、直接見ないと分からないことがあるから。	・（C）

ア 野球場で見ると、グラウンド全体の中でのボールと選手の動きを見ることができ
イ テレビだと一部の様子はよく分かるが、全体の様子がいつも分かるとはいえないから
ウ あまりくわしくない競技でもルールや見どころを知ることができるから
エ 三振をうばった投手が笑顔になるのを見ると、こちらまでうれしくなることがある

A☐

B☐

C☐

問題2

この会話文の中で、次の①と②のような発言をしたのは、それぞれだれですか。名前を書きましょう。

- ① 前の人の意見とは、反対の立場の意見と理由をのべている
② 前の人の発言に対し、質問をして、さらにくわしい説明を求めている。

① さん

② さん

問題3

——線部①で、前田さんが分かったこととは、具体的にどのようなことですか。ア～エからもっともふさわしいものを選んで記号を書きましょう。

- ア 競技の様子全体を見るよさと、選手の気持ちを想像しながら観戦するよさがある。
イ 競技のルールを正確に知るよさと、競技のくわしい解説を聞きながら観戦するよさがある。
ウ 競技の様子を部分的にくわしく見るよさと、競技の先を想像するよさがある。
エ 競技を始めから終わりまで見るよさと、報道を見て競技の様子を想像するよさがある。

☐

問題4

——線部②「それぞれにすぐれた点」とありますが、スポーツを競技場で見たときにすぐれた点と、それはない点を、次の空らんにあてはまるように本文の言葉を使って書きましょう。

競技場では選手の表情を見ることはできないが、

がいつも分かる。

解答と解説

問題1 次の表は、田中さん、東野さん、前田さんの発言から、スポーツをテレビで見た方がよいという意見と、実際に見た方がよいという意見の、それぞれの理由と事例をまとめたものです。表の(A)～(C)にあてはまるものを、ア～エから選んで記号を書きましょう。

意見	理由	事例
スポーツを見るならテレビの方がよい。	・選手の細かい動作や表情がよく見えるから。 ・(A)	・(B)
スポーツを見るなら実況中継の方がよい。	・競技場全体の様子や選手が動くスピードなどは、直接見ないと分からないことがあるから。	・(C)

ア 野球場で見て、グラウンド全体の中でボールと選手の動きを見ることができる。
イ テレビだと一部の様子はよく分かるが、全体の様子もよく分かったらいいから。
ウ あまりくわしくない競技でもルールや見どころを知ることができるから。
エ 三振をうった投手が笑顔になるのを見ると、こちらもうれしくなることがある。

問題2 この会話文の中で、次の①と②のような発言をしたのは、それぞれだててか、名前を書きましょう。

①前の人の意見とは、反対の立場の意見と理由をのべている。
②前の人の発言に対し、質問をして、さらにくわしい説明を求めている。

① 東野さん ② 田中さん

問題3 ①線部①で、前田さんが分かったことは、具体的にどのようなことですか。ア～エからくわしくふさわしいものを選んで記号を書きましょう。
ア 競技の様子全体を見るよと、選手の気持ちを想像しながら観戦するよとがある。
イ 競技のルールを正確に知るよと、競技のくわしい解説を聞きながら観戦するよとがある。
ウ 競技の様子を部分的にくわしく見るよと、競技の先を想像するよとがある。
エ 競技を始めから終わりまで見るよと、報道を見て競技の様子を想像するよとがある。

問題4 ①線部②で、それぞれにすべた点とありますが、スポーツを競技場で見たとすべた点と、そうではない点を、次の空欄にあてはまるように本文の言葉をかきましょ。

全体の様子
がいつも分かる。

問題1

文章に書かれていることから、意見と理由、事例を読み取る練習です。それぞれの発言の中で、どの部分が意見や理由、事例になっているのかを判断していきます。

意見は「スポーツを見るならテレビの方がよい」か「スポーツを見るなら実際に見る方がよい」のどちらかです。その理由と事例をそれぞれの発言から読み取りましょう。理由の(A)にあてはまるのは、前田さんの三度目の発言にあるからです。また、事例の(B)にあてはまるのは、田中さんの最初の発言にあるエです。(C)にあてはまるのは、東野さんの二度目の発言にあるアです。

問題2

会話文の中のそれぞれの発言は、どのようなものであるのかを判断できるようにしましょう。前の人の

意見と反対の立場の意見を述べたのは、東野さんです。田中さんが「スポーツを観戦するならテレビで見たいたいと思います」と言ったのに対し、東野さんは「私は競技場で見ることが好きです」と言っています。

また、前の人の発言に質問をして、さらにくわしい説明を求めたのは、田中さんです。東野さんが「直接見ないと分からないことがある」と言ったことに対し、「直接見ないと分からないことは、具体的にどのような場合でしょうか」と質問しています。

問題3

①で前田さんは「スポーツを見るときに、よいと思う点がある」と言っています。これは、田中さんと東野さんの会話を聞いて発言したことなので、その部分に書かれたことから考えます。イには「①よりも後で前田さんが話した内容が書かれています。ウには「競技の先を想像するよ」とありますが、そのようなことは書かれていません。エの内容は、本文のどこにも書かれていません。答えはアです。

問題4

会話文の中で、スポーツを競技場で見たときについて書かれたことをまとめる問題です。テレビで見る方がすぐれている点は「テレビだと一部の様子はよく分かる」です。これに対して、競技場で見るとすぐれている点は、どのようなことでしょうか。テレビで見るとすぐれた点が「一部の様子がよく分かる」なので、競技場で見るとすぐれた点は「全体の様子について書かれた部分になります。そのような内容をさがすと、田中さんの三度目の発言に「テレビだと一部の様子はよく分かれますが、全体の様子がいつも分かる」とはいえませんか」とあります。前と後の言葉につながるように答えの言葉をぬき出すと「全体の様子がいつも分かる」です。

問題

話すこと・聞くこと②

名前

年

組

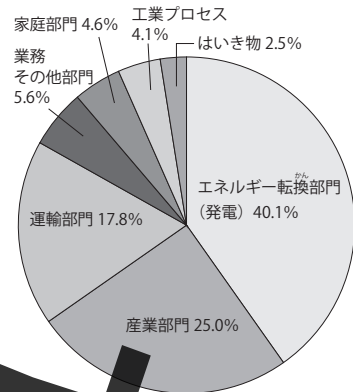
次の文章は、自由研究でかん境問題について調べたことを青木さんが発表したものと、それを聞いたクラスの友だちと青木さんとの会話文です。これを読んで後の問題に答えましょう。

青木さんの発表

私はかん境問題について考える中で、日本の発電について興味を持ちました。地球の温暖化の原因のひとつに、二酸化炭素のはい出があります。日本の二酸化炭素のはい出量は中国、アメリカ、インド、ロシアに次いで世界で五番目に多く、それは発電によるものが多いことがわかったからです。

調べたところ、日本の発電には二〇一〇年から二〇一五年の間に大きな変化がありました。東日本大しん災が起こり、原子力発電所をほぼ停止したことです。その代わりに、石炭や天然ガスによる火力発電が増えました。しかし、火力発電には二酸化炭素を多くはい出するという問題があるそうです。そこで、①新エネルギーが注目されるようになりました。しかし、太陽光や風力などの発電には、まだ発電量が少ないという問題や、発電にお金がかかるという問題もあります。情報機器の使用が増えたり、電気自動車が増えたりと、これからは電気が必要です。今後は、これらの問題を解決できる発電にしていかなければなりません。

資料1 日本の部門別二酸化炭素のはい出量の割合(2018年)



(出典：全国地球温暖化防止活動推進センター)

資料2 各発電方法の発電コスト

発電方法	発電コスト(円/kWh)
水力	11.0
石炭	12.3
天然ガス	13.7
石油	30.8
原子力	10.1
太陽光	24.2
風力	21.6
地熱	16.9

※1kWh(キロワットアワー)あたりの発電にかかった費用。1kWは電力量を表す単位
(出典：全国地球温暖化防止活動推進センター)

資料3 発電方法別の発電量における割合

発電方法	2010年	2015年	2020年
水力	7%	8%	8%
石炭	28%	34%	31%
天然ガス	29%	41%	39%
石油	9%	10%	6%
原子力	25%	1%	4%
新エネルギー	2%	6%	12%

(出典：電気事業連合会)

クラスの友だちと青木さんとの会話

田村.. 火力発電が二酸化炭素のはい出の大きな原因なのですね。なぜ、太陽光などの新エネルギーや、水力による発電を増やさないのでしょうか。

青木.. 資料にあるように、新エネルギーは発電にお金がかかってしまうからです。また(②)田村.. なるほど。例えば、天気がよい時期が続いて雨が降らないと、太陽光発電はよくても水力発電による発電量が少なくなり、雨がずっと、その反対のことが起こるということですね。前川.. かん境によい発電にも期待したいけれど、私たちが節電をすることも重要ではないでしょうか。その方法についても考えてみましょう。

問題1

——①「新エネルギーが注目されるようになりました」とありますが、なぜそのようなったのですか。理由を二つ書きましょう。

問題2

「青木さんの発表」の中で、青木さんは事実であることと、自分の意見とをのべています。次のア～ウは、それぞれ事実と意見のどちらであるかを書きましょう。

ア 日本の二酸化炭素はい出量は、発電によるものが多い。

イ 新エネルギーによる発電の問題点を解決する必要がある。

ウ 太陽光や風力などの発電は、火力よりも発電量が少ない。

問題3

（②）の青木さんの発言はどのようなものだと考えられますか。前後の田村さんの発言から考えて、「天候」という言葉を使って書きましょう。

問題4

「クラスの友だちと青木さんとの会話」を読んで、前川さんは発電による二酸化炭素のはい出に対して、どのような考えを持っていると思われますか。発言からわかることを、ア～エから選んで記号を書きましょう。

ア 技術の進歩によって、発電による二酸化炭素のはい出が少なくなるとよい。

イ 発電量を減らせば、二酸化炭素のはい出量を減らすことができる。

ウ このまま火力発電を続けると、二酸化炭素のはい出量が増えることが不安だ。

エ 二酸化炭素のはい出量を減らすより、発電量を安定させることが大切だ。

解答と解説

問題1 ①「新エネルギーが注目されるようになった」とありますが、なぜそのように思ったのですか。理由を二つ書きましょう。

原子力発電所をほぼ停止したから。

例 火力発電は二酸化炭素を多くはい出するという問題があるから。

問題2 「青木さんの発表」の中で、青木さんは事実であること、自分の意見をとるべています。次のア～ウは、それぞれ事実と意見のどちらであるかを書きましょう。

ア 日本の二酸化炭素はい出量は、発電によるものが多い。

事実

イ 新エネルギーによる発電の問題点を解決する必要がある。

意見

ウ 太陽光や風力などの発電は、火力よりも発電量が少ない。

事実

問題3 (②)「青木さんの発表はどのようなものだと考えられますか。前後の田村さんの発言から考えて、天候という言葉を使って書きましょう。

例 太陽光や水力による発電は天候に左右されやすいからです。

問題4 クラスの友だちと青木さんの会話を読んで、前川さんは発電による二酸化炭素のはい出に対して、どのような考えを持っているかと思えますか。発言からわかることをア～エから選んで記号を書きましょう。

ア 技術の進歩によって、発電による二酸化炭素のはい出が少なくなるという。

イ 発電量を減らせば、二酸化炭素のはい出量を減らすことができる。

ウ このまま火力発電を続けると、二酸化炭素のはい出量が増えることが不安だ。

エ 二酸化炭素のはい出量を減らすより、発電量を安定させることが大切だ。

イ

問題1

新エネルギーが注目されるようになった理由を考えます。新エネルギーとは、資料2によると、太陽光、風力、地熱による発電のことです。①の前には、原子力発電所をほぼ停止したこと、火力発電が増えたが、二酸化炭素を多くはい出する問題があることが書かれています。この二つの理由によって、新たな発電方法として新エネルギーが注目されるようになったのです。資料3からも、原子力発電が減って石炭や天然ガスによる火力発電が増えたこと、さらに、少しずつですが新エネルギーが増えていることがわかります。理由を答えるときは、文末を「から」で終わるようにしましょう。

問題2

事実と意見とを読み分けられるようになります。資料1を見ると、二酸化炭素はい出量がいちばん

多いのは「エネルギー転換部門(発電など)」となっており、アは事実とわかります。ではイはどうでしょうか。「新エネルギーによる発電の問題点を解決する必要がある」というのは、実際に起きたことではないので事実ではありません。仮に多くの人が賛成したり納得できそうなことであっていても、事実とはいえないことに気をつけましょう。ウは、資料3を見れば事実だとわかります。

問題3

田村さんの「なぜ、太陽光などの新エネルギーや、水力による発電を増やさないのでしょうか」という質問に対し、青木さんは「発電にお金がかかってしまう」とことを挙げています。これが一つ目の理由です。では、(②)にはどのような理由があてはまるでしょうか。

次の田村さんの発言を読むと、天気がよい時期が続いたり、雨が続きたりした場合に、太陽光発電や水力発電がどのようなか書かれています。このことから、青木さんは天候について話したと考えられます。

問題4

会話での発言から、前川さんの考えとしてあてはまるものを選びます。前川さんは、節電することも重要だと話しています。では何のために節電をするのでしょうか。二酸化炭素はい出のいちばんの原因は発電でした。そこで、節電することで発電量を減らせば、それが二酸化炭素のはい出量を減らすことにつながり、かん境を守ることができる考えたのです。そこから、答えはイです。

問題

書くこと

名前

年

組

次の文章は、「日本に外国人が多くいること」について、田村さんが調べたことをもとに書いたものです。これを読んで、後の問題に答えましょう。

- ①現在、日本には多くの外国人が観光に訪れたり、仕事のために住んだりしています。そこで、生活に必要な情報が外国の人にも伝わるように、さまざまな工夫がされています。
- ②例えば、外国人向けの地図や案内板には、①外国人にもわかりやすい地図記号が使われています。
- ③その他にも、②「やさしい日本語」の取り組みがあります。これは、日本語が得意ではない人にもわかりやすいように配りよした言い方や書き表し方をすることで、現在、自治体のお知らせなどをはじめとして、全国的に導入する動きが高まっているそうです。
- 具体的には、③のように、難しい熟語をやさしい表現に置きかえたり、言葉のまとまりごとに一文字分空けて書いたりすることです。「やさしい日本語」が考え出されたきっかけは、一九九五年の阪神淡路大震災だったそうです。被害を受けた人の中には、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない人もいました。そこで、すべての人が非常時にも適切な行動がとれるように考えられたのが「やさしい日本語」なのです。
- ④そして、日本に滞在する外国人がこれほど増えた現在に、やさしい日本語への取り組みが進んでいるのは、④言語の多様化に対応しきれないといった現実もあるそうです。
- ⑤災害などの非常時だけでなく、医りようや教育、高れい者や障がい者などへの福祉、そして観光など、外国人への対応が必要とされている分野はたくさんあります。
- ⑥だれもが住みやすい社会を実現するために、日常のさまざまな場面で活用できるコミュニケーションや情報伝達の手段を考える必要があるのです。

これは思案です

問題1

この文章を書く前に、田村さんは全体の構成を次のように考えました。「A」～「C」にあてはまる言葉を、本文の言葉を使って書きましょう。

序文

- ・ 日本に「A」が多いこと
- ・ 情報を伝えるためのくふう

本論

- ・ 外国の人に情報が伝わりやすくするための事例と理由
- (例) 地図の記号、「B」

まとめ(結論)

- ・ 「C」の手段しゅだんを考えることが必要

A

B

C

問題2

——線部①「外国人にもわかりやすい地図記号」が使われたり、——線部②「『やさしい日本語』の取り組み」がされたりしているのはなぜですか。本文の言葉を使って書きましょう。

問題3

（ ）③（ ）にあてはまる言葉としてもっともふさわしいものを、ア～エから選んで記号を書きましょう。

ア 「土足厳禁」を「ここでは くつを ぬいでください」

イ 「土足厳禁」を「どそく げんきん」

ウ 「ここでは くつを ぬいでください」を「土足厳禁」

エ 「どそく げんきん」を「土足厳禁」

問題4

——線部④「言語の多様化」とは、どのようなことですか。ア～エから選んで記号を書きましょう。

ア ひとつの言葉には多くの意味があるということ。

イ 英語も日本語も話せる人が増えたこと。

ウ 日本語には漢字と仮名があり、学習が難しいこと。

エ いろいろな国の人が、それぞれの言語を使うこと。

解答と解説

問題1

この文章を書く前に、田村さんは全体の構成を次のように考えました。「A」・「C」にあてはまる言葉を、本文の言葉を使って書きましよう。

序文	・日本に「A」が多いこと ・情報を伝えるためのくつつ
本論	・外国の人に情報が伝わりやすくなるための事例と理由 (例) 地図の記号、「B」
まとめ(結論)	「C」の手段を考へることが必要

A 外国人 B やさしい日本語

C コミュニケーションや情報伝達

問題2

線部①「外国人にもわかりやすい地図記号」が使われたり、線部②「やさしい日本語の取り組みがされたりしているのはなぜですか。本文の言葉を使って書きましよう。

生活に必要な情報が外国の人にも
伝わるようにするため。

問題3

③()にあてはまる言葉を①と②で使ったものを選び、ア～エから選んで記号を書きましよう。

- ア 「土足厳禁」を「くつつ」をぬいでください。
イ 「土足厳禁」を「げんきん」
ウ 「くつつ」をぬいでください。「土足厳禁」
エ 「くつつ」をぬいでください。「土足厳禁」

問題4

線部④「言語の多様化」とは、どのようなことですか。ア～エから選んで記号を書きましよう。

- ア ひとつの言葉には多くの意味があること。
イ 英語も日本語も話せる人が増えたこと。
ウ 日本語には漢字と仮名があり、学習が難しいこと。
エ いろいろな国の人が、それぞれの言語を使うこと。

問題1

文章を書くときは、何をどのように書くのか、メモを作成するとよいでしょう。「序文」には、その文章で述べたいこと(テーマ)や、なぜその文章を書くのか、疑問や興味をもったきっかけなどを書きます。「本論」には、テーマについて、意見や事例などを詳しく書きます。「まとめ(結論)」には、自分の意見やこれからの課題、目標などを書くことよいでしょう。問題の文章は、第一段落が序文、第二段落から第五段落が本論、第六段落がまとめです。

問題2

①や②は、どちらも日本にいる外国の人に向けられたものです。それは、何のためでしょうか。①と②の前の第一段落には、「生活に必要な情報が外国の人にも伝わるように、さまざまなくふうがされています」とあります。つまり、生活に必要な

情報が外国の人にも伝わるようにするために、地図記号や「やさしい日本語」の取り組みがあるのです。設問に「なぜですか」とあるので、理由を答えるようにします。答えの文末は「ため。」や「から。」にしましょう。

問題3

「やさしい日本語」の具体的な例を考える問題です。文章に書かれた条件から、どのように表せばよいのかを考えましよう。(③)の後には「難しい熟語をやさしい表現に置きかえたり、言葉のまとまりごとに文字分空けて書いたり」とあります。これにあてはまるのは、アの「土足厳禁」を「くつつ」をぬいでください」です。

問題4

④の前に「日本にたい在する外国人がこれほど増えた現在に」とあること、また、④の直後に「対応しきれないといった現実」とあることから考えましよう。つまり、外国人が増えたために対応ができないという現実があるのです。対応とは、医りようや教育、高い者や障がい者などへの福祉、観光などの分野で、実際に外国人と対応することです。しかし、外国人が増えると、その分、いろいろな国の人がいることになり、それぞれの国の言語が必要になります。これが「言語の多様化」であり、エが正解だと考えることができます。

次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。

木になる※木本性の植物は、何十年も何百年も生きることが出来る。なかには※屋久島の縄文杉のように、樹齡が何千年にもおおよぶようなものさえある。一方、※草本性の植物の寿命は一年以内か、長くてもせいぜい数年である。

その気になれば、数千年も生きることのできる植物が、わざわざ進化をとげて、寿命が短くなっているのである。

すべての生物は死にたくないと思っている。少しでも長生きしたいと思っている。千年、生きられるのであれば、千年、死なずにいたいと誰もが思うことだろう。それなのに、どうして植物は、進化の結果、短い命を※選択したのだろうか。

長い距離のマラソンレースを走りぬくことは大変である。さらに障害物レースだったとしたら、どうだろう。四二・一九五キロ先のゴールにたどり着くことは、簡単ではない。

しかし、それが一〇〇メートルだったら、どうだろう。全力で走りぬくことができる。

もし、多少の障害が待ちかまえていたとしても、全力で障害を乗り越えられるはずだ。テレビ番組の企画で、マラソン選手と一〇〇メートルずつバトンリレーをする小学生の対決が行われるが、マラソン選手も、全力疾走する小学生のバトンリレーにはかなわない。

植物も同じである。千年の寿命を生きぬくことは難しい。途中で障害があれば、枯れてしまうかもしれない。これに対して、一年の寿命を生きぬく方が、※天命を全うできる可能性が高いだろう。だから、植物は寿命を短くし、一〇〇メートルを走り切ってバトンを渡すように、次々に世代を※更新していく方を選んだのである。特に、植物は世代を※経ることと変化したり、進化を進めたりすることができる。そのため、世代を進めることで、変化する環境や時代の移り変わりに対応することも可能になるのである。

※木本性…植物のうち、成長すると幹を形づく「木」になるもの。

※屋久島の縄文杉…屋久島は鹿児島県にある島。そこに自生する最大級の屋久杉を縄文杉と呼ぶ。

※草本性…植物のうち、くきが幹にならず「木」にならないもの。

※選択…選ぶこと。

※天命…寿命のこと。

※更新…前の状態から新しいものに改めること。

※経る…時間が過ぎること。ここでは、世代が何度かわるること。

(稲垣栄洋「植物はなぜ動かないのか 弱くて強い植物のはなし」)

問題1

次のア～ウの文は、本文中で「木本性」と「草本性」のどちらについて書かれたものですか。木本性の場合はA、草本性の場合はBと書きましょう。

ア 何十年、何百年も生きることができる。

イ 次々に世代を更新していく。

ウ 天命を全うできる可能性が高い。

ア ☐ イ ☐ ウ ☐

問題2

——線部』どうして植物は、進化の結果、短い命を選択したのだろうか」とありますが、その理由として正しいものを次のア～エから二つ選び、記号を書きましょう。

ア 変化する環境や時代の移り変わりへの対応が可能になるから。

イ 障害があったとき、すぐに枯れた方が次の世代が生きやすいから。

ウ 寿命があまり長いと、子孫が増えすぎてしまうから。

エ 次々に世代をかえていく方が障害を乗り越えやすいから。

☐ ☐

問題3

筆者は、植物の生き方があることに例えています。この例えについて説明したア～エの文のうち、正しいものを選んで記号を書きましょう。

ア 植物の寿命が短くなった理由を、マラソンよりも障害物レースの方が走りやすいことに例えて説明している。

イ 木本性の植物をマラソンに例え、草本性の植物をバトンリレーに例えることで、植物の寿命が長い理由を説明している。

ウ 植物が次々に世代を進める理由を、マラソン選手がバトンリレーをする小学生にかなわないことを例に挙げて説明している。

エ 環境の変化や時代の移り変わりに対応する必要があることを、障害物レースを走ることを例に説明している。

☐

問題4

次の会話文は、川田さんと山岡さんが本文を読んだ感想を話し合ったものです。これを読んで、（ ）にあてはまる言葉を考えて書きましょう。

川田..この文章には、植物が生きるために、どのような進化をしたのか書かれていました。

山岡..そうですね。何千年も生きる屋久杉のような方法ではなく、なぜ短期間で世代を交代していく道を選んだのか、興味深く読みました。

川田..私はこれを読んで、動物もさまざまな方法を選んでしていると聞いたことを思い出しました。

山岡..それはどのようなことですか。

川田..たくさんの子どもを産むけれど、大人になるまで育たない子どももいて、また寿命も短いネズミのような生き物もいれば、象のように長く生きて、少ない数の子どもを大きく育てる生き物もいるという話です。

山岡..なるほど。どちらの目的も（ ）ですが、手段がちがうんですね。

解答と解説

問題1 次のア～ウの文は、本文中で「木本性」と「草本性」のどちらについて書かれたものでしょうか。木本性の場合はA、草本性の場合はBと書きましょう。

- ア 何十年、何百年も生きることができる。
イ 次に世代を更新していく。
ウ 天命を全うできる可能性が高い。

A B C

問題2 線部、どうして植物は、進化の結果、短い命を選択したのだろうかとありますが、その理由として正しいものを次のア～エから二つ選り、記号を書きましょう。

- ア 変化する環境や時代の移り変わりへの対応が可能になるから。
イ 障害があつたとき、すぐに枯れた方が次の世代が生きやすいから。
ウ 寿命があまり長いと、子孫が増えすぎてしまうから。
エ 次に世代をかえていく方が障害を乗り越えやすいから。

A B C D

問題3 筆者は、植物の生き方があることに例えています。この例えについて説明したア～エの文のうち、正しいものを選んで記号を書きましょう。

- ア 植物の寿命が短くなった理由を、マラソンよりも障害物レースの方が走りやすいことに例えて説明している。
イ 木本性の植物をマラソンに例え、草本性の植物をバトンリレーに例えることで、植物の寿命が長い理由を説明している。
ウ 植物が次々に世代を進める理由を、マラソン選手がバトンリレーをする小学生にかなわないことを例に挙げて説明している。
エ 環境の変化や時代の移り変わりに対応する必要があることを、障害物レースを走ることを例に説明している。

A B C D

問題4 次の会話文は、川田さんと山岡さんが本文を読んだ感想を話したもので、その内容を読んで、()にあてはまる言葉を選んで書きましょう。

川田：この文章には、植物が生きるために、どのような進化をしたのかが書かれていました。山岡：そうですね。何千年も生きる屋久杉のような方法ではなく、なぜ短期間で世代を交代していく進を選んだのか、興味深く読みました。
川田：私はこれを読んで、動物もさまざまな方法を選んでいると聞いたことを思い出しました。山岡：それはどのようなことですか。
川田：たくさんの子どもを産むけれど、大人になるまで育てない子どももいて、また、寿命も短いネズミのような生き物もいれば、象のように長く生きて、少ない数の子どもでも大きく育てて育てる生き物もあるという話です。
山岡：なるほど。どちらの目的も () ですが、手段がちがうですね。

例 次の世代の子孫を残すこと

のである」とあるので、あてはまります。答えはアとエです。

問題3

この文章では、植物の寿命をマラソンレースや障害物レースなどに例えて説明していました。それでは、本文に書かれている内容にあてはまるのは、どれでしょう。

アの「マラソンよりも障害物レースの方が走りやすい」とは書かれていません。イは「植物の寿命が長い」がちがっています。

エはどのようか。環境の変化や時代の移り変わりに対応するには、「バトンリレーのように、次々に世代を更新する方を選んだ」とあります。障害物レースではないので、エもちがいます。正解はウです。

問題4

川田さんは、本文を読んで、植物だけではなく、「動物もさまざまな方法を選んでいると聞いたことを思い出しました」と話しています。それが、ネズミや象の例です。短い寿命のネズミは次々と世代の更新をする植物に似ています。また、長く生きる象は、寿命の長い樹木のようにです。しかし、どの植物にも寿命があり、世代を更新する必要があります。同じように、動物にも寿命があり、『次の世代に子孫を残すという目的』があると考えることができます。「次の世代に命をつなぐ」や「世代を更新する」など、同様の意味のことが書けていれば正解です。

問題1

木になる植物を木本性、くきが幹にならない植物が草本性です。文中に書かれたことから、木本性、草本性のどちらかを判断しましょう。アの寿命が長いのは木本性、イの次々に世代を更新するのは寿命の短い草本性、寿命が短く、天命を全うできそうなのは草本性です。

問題2

植物が短い命を選択した理由は、長い寿命を生きぬくよりも、短い寿命を生き、バトンを渡すように世代を更新することを選んだからです。アの「変化する環境や時代の移り変わりへの対応が可能になるから」は、本文の最後の行に書かれています。イとウのようなことは本文に書かれていません。エは本文に「植物は寿命を短くし、一〇メートルを走り切つてバトンを渡すように、次々に世代を更新していく方を選んだ

次の文章は、父親の仕事の関係で転校をくり返す主人公の少年が、小学校生活の思い出をテーマに「お別れ会」で演じる劇の内容を決めるために、クラスで話し合う場面です。これを読んで後の問題に答えましょう。

みんなは次々に思い出を挙げていった。予想よりずっと数が多く、エピソードの内容も入り組んでいて、しかも多数決をとっても票が割れて、なかなか絞りこめない。

①少年は黙って黒板に向かい、学年別書き出した思い出を眺めて、一学年につき一つずつ選んで、○をつけた。残りはカット。図書館で借りたお芝居の本に載っていた「ボツにする」というやつだ。

教室のあちこちから、不満の声があがった。ふてくされて、「そげな話じゃったら、もう出んけえの」とそっぽを向く連中まで出てきてしまった。家に帰って、机の上にノートを広げた。候補に挙がった思い出を走り書きしたメモを見つめると、悔しくてたまらなくなった。

社会科見学のときに誰かがお弁当を芝生の上にひっくりかえして大変だったとか、誰かがスキー教室の帰りのバスで吐いたとか、よくある話ばかりだ。べつにお芝居で再現するほどの話ではない。でも、少年は、その場にいなかった。みんなは六年間ずっと同じ学校で付き合っているのに、少年が「あったあった、懐かしいの」と相槌を打てるのは、最後の半年分の思い出だけ。

②昔の友だちに会いたくなくなった。昔の町に遊びに行きたくなくなった。

ノートのページをめくって、一年生の頃からの思い出を、浮かんでくるまま書き付けていった。あんなことがあった、こんなことがあった、あんなことがあった、こんなことがあった、あんなこと、こんなこと、あんなこと、こんなこと……。

③最初は楽しかったが、しだいにまた悔しくなった。いっしょに話す相手のいない。思い出なんて、いくらたくさん持っていたってしかたない。二年生や三年生の頃なら、悔しさではなく悲しさで胸がいっぱいになって、涙ぐんでしまったかもしれない。

そんなふうに思っ、あの頃はどこの町の学校にいたんだっけと振り返ると、悔しさがさらにつって、つって、つって……高い声を出しつづけると最後に裏返ってしまうように、悔しさはやっぱり悲しさに変った。

ノートをめくる。この町に来てから半年間の思い出を書いた。クラスの友だちに負けないような面白い思い出を選んでいくと、ほんの二、三行で思い出はつきってしまった。

(重松清「北風ぴゅう太」・『きよしこ』による)

問題1

——①とありますが、このときの少年の気持ちとしてもつともぶさわしいものを、ア～エから選んで記号を書きましょう。

ア 自分が知らない思い出ばかりで、どんなお芝居にすればよいか迷っている。
イ みんなの気持ちは考えず、事務的にかたづけてしまえばよいと思っている。
ウ 自分が選ぶエピソードが、みんなにとっても思い出深いはずだと思っている。
エ 多数決で決めるよりも、自分が選んだ方が公平になるはずだと思っている。

☐

問題2

——②「昔の友だちに会いたくなかった。昔の町に遊びに行きたくなかった」のはなぜですか。ア～エから選んで記号を書きましょう。

ア 昔の友だちに会ったり、住んでいた町に行ったりすれば、何か思い出すと考えたから。
イ 昔の友だちと会って、新しい思い出を作りたいと考えたから。
ウ 昔住んでいた町には、自分にも友だちがたくさんいたことを確かめたかったから。
エ 自分も友だちと思い出についての話をして、相槌を打ちたいと思ったから。

☐

問題3

——③「最初は楽しかったが、しだいにまた悔しくなった」とありますが、どのようなことが楽しく、なぜ悔しくなったのか、説明しましょう。

問題4

——A「思い出」と同じ時期であるのは、——B～Dの「思い出」のうちどれですか。記号を書きましょう。

☐

解答と解説

問題1 ①ありますが、このときの少年の気持ちとしてもっともふさわしいものを、ア～エから選んで記号を書きましょう。

ア 自分が知らない思い出ばかりで、どんなお芝居にすればよいか迷っている。
イ みんなの気持ちは考えず、事務的にかつてしまえばよいと思っている。
ウ 自分が選ぶエピソードが、みんなにとっても思い出深いはずだと思っている。
エ 多数決で決めるよりも、自分が選んだ方が公平になるはずだと思っている。

イ

問題2 ②「昔の友だちに会いたくなった。昔の町に遊びに行きたくなった」のはなぜですか。ア～エから選んで記号を書きましょう。

ア 昔の友だちに会ったり、住んでいた町に行ったりすれば、何か思い出すと考えたから。
イ 昔の友だちと会って、新しい思い出を作りたいと考えたから。
ウ 昔住んでいた町には、自分にも友だちがたくさんいたことを確かめたかったから。
エ 自分も友だちと思い出についての話をして、相槌を打ちたいと思ったから。

エ

問題3 ③「最初は楽しかったが、しだいにまた悔しくなった」とありますが、どのようなことが楽しく、なぜ悔しくなったのか、説明しましょう。

例 自分にも一年生のころからの思い出があり、それを思い出することは楽しかったが、それをだれとも話せないことに気づいたので、くやしくなった。

問題4 — A「思い出」と同じ時期であるのは、— B「D」の思い出「のうたのたれてすけ」の記号を書きましょう。

D

のです。正解はエです。

問題3

「最初は楽しかった」、「しだいにまた悔しくなった」とあるのでも、それぞれが具体的にどんなことを考えました。まず「楽しかった」ことはどんなことでしたか。

③の前に「一年生の頃からの思い出を、浮かんでくるまま書き付けていった。あんなことがあった、こんなことがあった」とあり、次々と思いつくことを楽しんでいる様子がかがえます。では、「悔しくなった」のは、どんなことでしょうか。③の後に「いっしょに話す相手のいない思い出なんて、いくらたくさん持っていたってしかたない」とあり、今、この思い出を誰かと話せないことを悔しく思っていることがわかります。この二つのことをまとめるようにして答えましょう。

問題4

Aの「思い出」は六年生の「最後の半年分の思い出」のことです。— Bは「一年生の頃からの思い出」、Cも「いっしょに話す相手のいない思い出」なので、昔の友だち、昔の町での一年生の頃からの思い出です。— Dは、ほんの二、三行しか書くことのない、この町に来てから半年の思い出です。— Aと同じ時期の思い出は、Dです。

問題1

「黙って黒板に向かい」という少年の様子や、「一学年につき一つずつ選んで、○をつけた。残りハカット」という動作から、気持ちを考えてみます。クラスのみんなと話をせずに黙っていること、内容に関係なく、機械的に一学年に一つずつ選んでいることから、物事を事務的に進めようとしている気持ちがかがえます。したがって、答えはイです。第三段落の「不満の声があがった」「そっぽを向く連中まで出てきてしまった」からもその様子を想像することができます。

問題2

学校で、半年分の思い出にしか相槌を打つことができない少年にとって、それより前の思い出は昔の友だち、昔の町にあります。今の学校の友だちたちが、六年間の思い出を挙げていくのを見て、自分も昔住んでいた町に行つて、そこに住む友だちに会いたくなった